

伝統文化芸術 振興事業の 進捗状況



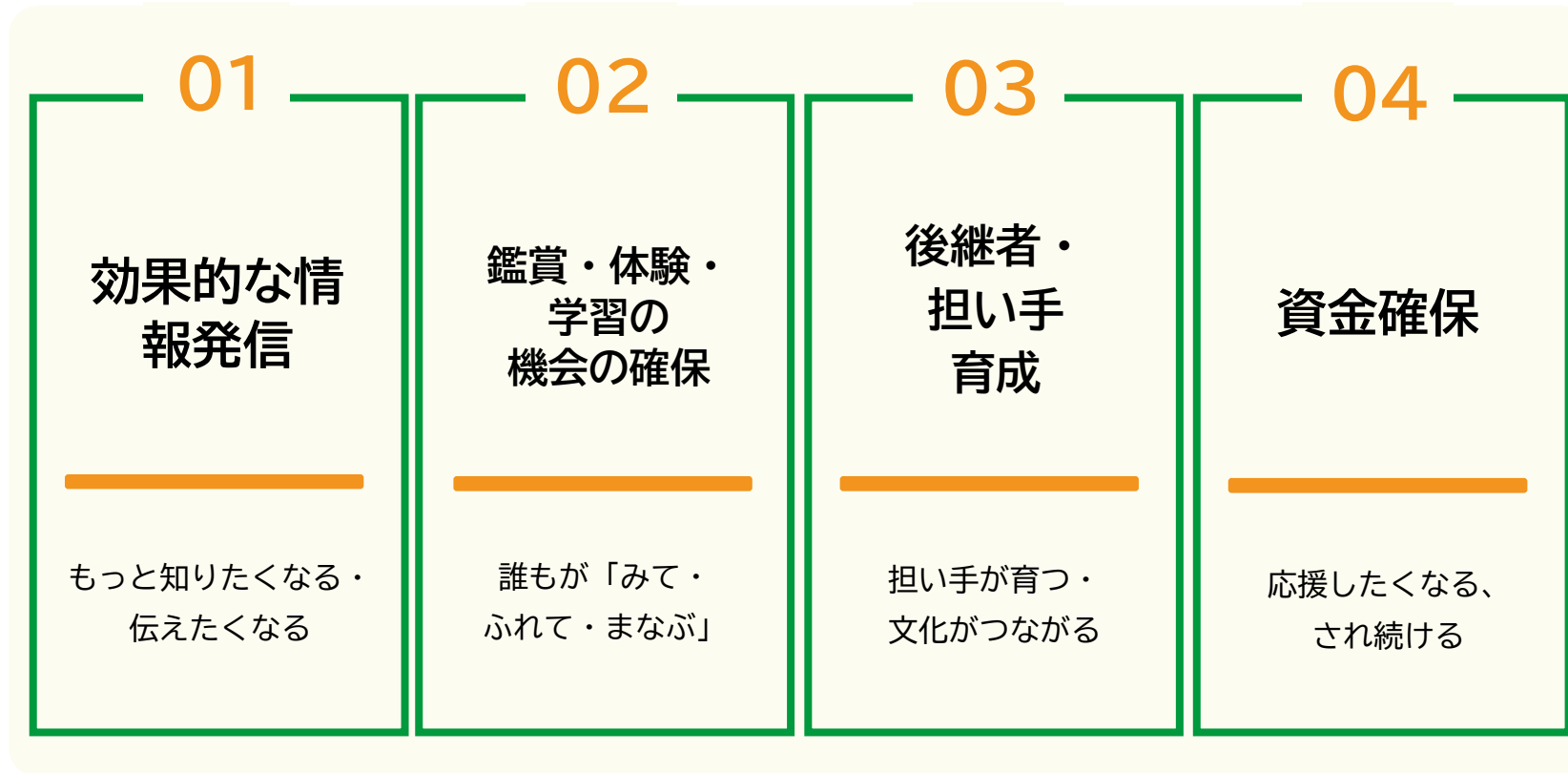
目次

- ▶ **令和7年度事業の進捗状況**
- ▶ **令和8年度事業計画**

令和7年度 事業の進捗状況



文化振興の課題



第2期実施計画で設定をする4つの課題

小泉八雲・セツのドラマを生かした観光振興

「小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進事業」ほか4事業(予算:64,662千円)



目的

■連続テレビ小説「ばけばけ」を全国・世界に向けた松江の魅力発信・観光振興に最大限生かすとともに、将来にわたり「妻セツと出会い、小泉八雲が愛したまち松江」を市民が誇れるよう「小泉八雲・セツの精神・功績」を後世に引き継ぐ。

実施内容

■機運醸成事業、誘客プロモーション事業

- ・八雲ゆかりの地等での観光PRブース出展(静岡・熊本)
- ・特設サイト「443が結ぶふたりのキセキ」の開設
- ・八雲とセツ講座・イベントの開催・ラッピングバスの運行
- ・あげそげばけロゴを活用した各種広告の掲出 など

■商品開発及び販売促進支援事業

- ・特設サイトでの八雲・セツ関連商品紹介 など

■受入環境整備事業、周遊促進事業

- ・ばけばけ展の開催(カラコロ工房、松江歴史館)
- ・回遊性向上キャンペーン「あげ、そげ、ばけめぐり」の実施
- ・施設の観覧環境改善
(予約システムの導入、小泉八雲記念館のWi-Fi環境整備) など

松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年記念事業

(予算70,870千円)



目的

■平成27年(2015)7月の松江城天守の国宝指定から10年、明治8年(1875)の天守保存から150年という節目を祝い、**松江城天守を守り伝える気運をさらに高めるとともに**、節目を契機としたイベントを中心に観光誘客の促進を図る。

実施内容

- 特別版 お城EXPO in松江【来場者数:6,281人】
毎年12月に横浜で開催される**お城ファン**の祭典を、6月28日から29日にかけて特別に松江で開催。あわせて記念式典・記念講演を開催し、日本が世界に誇る天守と**松江城の歴史的価値**を発信した。
- 松江城雲海ライトアップ【来場者数:7,980人】
6月28日から8月17日の土日祝日を中心に「**雲海松江城**」を開催し、人工雲海と音響、映像による演出で**松江城の魅力**を発信した。
- 国宝天守保存リレー講座【参加者数:160名】連続3回:7/27、9/28、11/16
国宝五城(松江城、姫路城、彦根城、松本城、犬山城)に詳しい講師を招聘。
- 記念イベント等開催支援補助金(実施中)

松江・森の演劇祭事業

(予算:31,800千円)



目的

■こどもから高齢者まで幅広い年代の方が、世界の多様で創造的な演劇に触れることで、感動を味わうとともに、演劇を通じた文化振興・地域づくりを推進する。

実施内容

■第8回松江・森の演劇祭の開催を支援した。
 【開催日】10/30(木)~11/8(土)
 【会場】松江市八雲林間劇場(しいの実シアター)ほか
 【内容】国内外の劇団を招いての上演、会場敷地内でのマルシェの開催など
 【劇団】5か国8劇団8作品(仏・伊・米・英・日)
 【観劇者】2,373人 【来場者】4,383人

ぷらっとプラバ魅力発見事業

総合文化センター運営(予算:1,860千円)



小学生親子ペア無料招待



公開レッスン(吹奏楽部)



目的

■市民がプラバホールを身近な施設として、これまで以上に愛着を感じ、ふとした機会にぷらっと立ち寄れる場として、プラバホールの新たな魅力を発見してもらう。

実施内容

■小学生親子ペア無料招待【全8公演】
 ○招待者数:延べ144組288名
 ■公演リハーサル無料公開
 ・N響メンバーによるピアノクインテット
 ○参加者:19名
 ■音楽家による公開レッスン【アウトリーチ】
 松江四中、松江二中、美保関中、島根中、東出雲中で実施(延べ150人参加)
 ■プラバを活用したイベントの実施
 ・プラバの夏祭り(8/5~8/9)
 来場者延べ 2,062人
 ・プラバの冬祭り(12/13)
 来場者 230人

小泉八雲・セツ普及促進事業

(予算:6,053千円)



目的

■連続テレビ小説「ばけばけ」放送を好機と捉え、普及冊子制作と出前講座実施により、小泉八雲と妻セツの功績を改めて広め、**市民のまちへの誇りと愛着を醸成**する。

実施内容

- 小泉八雲とセツ普及冊子製作**
一般向けと小学生向け冊子を作成し、市民に配布(配布数:一般4,200冊小学生1,400冊)。
- 出前講座の実施**
冊子を利用した出前講座を実施
実施件数:24 参加者数:857
- トークイベントの実施**
開催回数:4 参加者数:214
- 熊本市・焼津市との連携協定締結**
小泉八雲を縁とする連携協定を締結し、研究やイベントなどで連携協力した。
・熊本の朗読会のリモート鑑賞会
・松江歴史館での焼津市のPR など



小泉八雲を縁とする連携協定

職人商店街創出事業

(予算:17,500千円)

目的

■中心市街地において、匠の技を観て・体験できる店舗づくりを支援することで、賑わいと回遊性の向上を図るとともに、**職人文化の継承を後押し**する。

実施内容

- 引き続き、店舗のリノベーション支援、職人のお試し出店支援及び回遊性向上のための賑わいづくり支援を行っている。
- 職人商店街の広がりを目指して「**職人商店街認証制度**」を創設。
- 職人の手仕事の「観える化・体験」に取り組むフラットスタイル株式会社の移転開業を支援。
令和7年11月オープン



ふるさと納税

寄附額:614,767千円(1月末時点)

(目標額:600,000千円)

今年が熱い!小泉八雲『怪談』コラボ返礼品特集

2025年秋の朝ドラは『怪談』の著者で知られる小泉八雲の妻・セツをモデルに、明治期の日本で人々の心に光を当て、彼らの代弁者として語り継いだ夫婦の物語が描かれます。八雲は松江で「最も幸福な時」と称する時間を過ごし、松江を舞台に多くの作品を残しました。小泉八雲や怪たちをモチーフにした返礼品が続々登場しています!!

■ お菓子・お茶



【怪談120周年】小泉八雲の「ゆきおんな」かオリジナル 洋菓子 ラフカディオハーン 島根県社松江クロード [ALCL004] お菓子 焼き菓子 一缶 詰め合わせ 洋菓子 島根 松江 人気 お?

14,000円以上の寄付でもらえる

♡ お気に入り

「雪女」と「河童」をモチーフにした型抜きクッキーと、商品「出雲結びぼうる」をひとつの缶に詰め込みます。ラステーターのしもおさむ氏が担当し、可愛らしく楽しむことができます。



老舗和菓子店!ハーンの羊羹 2本 箱入 島根県社 高見一力堂 [ALHG003] 和スイーツ おやつ 菓子 銘菓 島根 松江 おすすめ 人気

9,000円以上の寄付でもらえる

♡ お気に入り

小泉八雲 特設ページ

松江を愛した明治の文豪・ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)をテーマにした特設ページが、お楽しみいただけます。



目的

- 松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。
- 文化振興事業費へ活用することで財源の安定化を図る。

実施内容

- 令和8年1月末で、寄附額614,767千円であった。これは対前年同期比1.30倍であり、順調に推移している。
- 「松江の文化力を生かしたまちづくり」に対する寄附は、29,809千円で全体の4.8%となっている。今後目標到達に向けより一層取り組みを強化していく。
- 「小泉八雲『怪談』コラボ返礼品特集」特設ページ開設
- 松江城天守国宝指定10周年パンフレット作成

令和8年度 事業計画



令和8年度の位置づけ

種まき期



令和3～6年度

成長期



令和7～10年度

収穫期



令和11～14年度

第2期実施計画の中間年度

▶「松江ならではの」自然・歴史・伝統文化をさらに磨き上げ、未来への継承に取り組みます！

【主な取組み】








国宝松江城天守において、昭和25～30年の解体修理から70年ぶりとなる「令和の大改修」に着手

美保神社周辺に残る歴史的な町並みの「重要伝統的建造物群保存地区」選定を目指す

松江伝統芸能祭、佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録15周年事業【神座(かむくら)】の開催

事業数と予算額(案)

(単位:百万円)

	R8事業数	R7事業数	R8予算額	R7予算額 (6月補正後)
 古代から近代までの豊富な文化財	72	73	1,060	861
 地域に根づく伝統文化	16	16	95	53
 市民生活に根づく茶の湯文化	23	23	306	256
 小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化	26	29	306	272
 市民とともに育む文化芸術活動	27	27	461	414
 伝統文化芸術活動の拠点となる施設	41	41	1,727	1,479
 宍道湖、堀川、中海等の松江的景観	34	34	449	345
計	239	243	4,404	3,679
再掲重複除く	161	163	3,105	2,769

4つの課題ごとの 主な取組み



小泉八雲・セツのドラマを生かした観光振興

「小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進事業」ほか4事業

(予算:33,000千円)

ばそあ
けげ、げ、げ



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江



目的

■小泉八雲・セツをモデルとした連続テレビ小説の制作・放送を最大限に生かして観光振興を図るとともに、小泉八雲・セツの精神・功績を後世に引き継いでいく取組みを推進する。

事業概要

■誘客及び機運醸成プロモーション事業

県外での誘客イベント開催、SNS及びWEB広告、特設WEBサイトの掲載情報充実化、機運醸成イベントの開催等

■受入環境整備事業

市役所新庁舎1階にドラマセットを再現した「小泉八雲・セツのドラマ館」を整備

■周遊促進事業

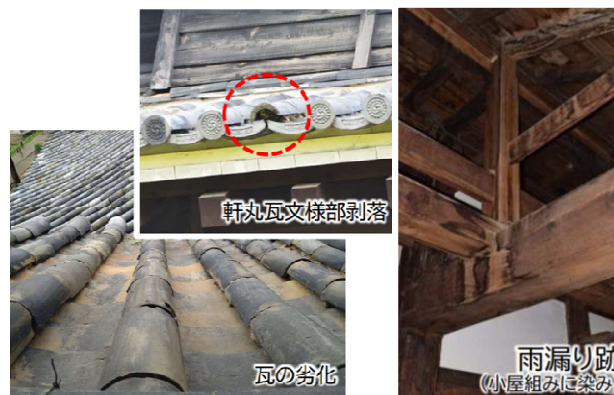
イベント開催補助等

国宝松江城天守保存修理事業

(予算:10,827千円)

目的

■本市の貴重な文化遺産である国宝松江城天守を守り、次代へ引き継ぐ。



事業概要

■国宝松江城天守は昭和25年～昭和30年の解体修理から70年が経過し、屋根瓦や壁板などが複数箇所では損傷し、雨漏りが発生しているため、外観を中心とする大規模な修理を実施する。

【全体事業計画】

令和7年度:修理基本計画策定

令和8年度:実施設計

令和9～11年度:保存修理工事(見込み)

鑑賞・体験・学習の機会の確保

松江伝統芸能祭・

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録

15周年事業【神座(かむくら)】

郷土芸能継承発展事業(予算:6,004千円)



目的

■本市の貴重な**伝統芸能文化の継承・発展**を図るべく、**鑑賞・体験の機会**を充実させ、若い世代を含む多くの市民に**伝統芸能文化の魅力**に触れてもらう。

事業概要

■2年に1度開催する**松江伝統芸能祭**と、**佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録15周年**を記念する事業**神座**を同日開催する。

■松江伝統芸能祭は、松江市伝統芸能文化保護育成協議会に加盟する団体が出演し、神座では、ゲストとして子ども佐陀神能教室や県外神楽団体を招聘する。

重要伝統的建造物群保存地区推進事業

(予算:6,240千円)



目的

■美保関町美保関の**美保神社**周辺に残る**歴史的なまちなみ**の**保存・活用**を通して、**生活環境や景観の向上**を図り、**生活や生業、伝統行事等**を後世へ**継承**する。

事業概要

■本市は、美保関地区を「**松江市美保関伝統的建造物群保存地区**」(伝建地区)として決定し**保存**を図っている。

■市から国へ申出をし、わが国にとって特に価値が高いと判断されると「**重要伝統的建造物群保存地区**」(**重伝建地区**)に選定され、地区内の建築物等の**修理・修景、防災事業等**の経費の**国庫補助**を受けることができる。地区住民の皆様と共に**歴史的資源を活かしたまちづくり**を行う。

■令和8年度:国から**重伝建地区選定、選定記念事業**の開催

文化財情報発信施設整備事業(文書館)・ 松江市文書館機能整備事業

(予算:47,321千円)



↑明治22年松江市諸規定綴り(右)と
大正3年の市条例綴り(左)



目的

■市民が地域の歴史資料や歴史公文書などの史料をもとに、地域の歴史を知ることができる拠点を作る。

事業概要

■「松江市文書館(仮称)整備構想」に基づき、歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。

■文書館の3つの機能

- ①歴史公文書、地域の歴史資料の調査、収集、整理、保存
- ②調査研究・歴史編纂
- ③史料・情報の公開と提供

電子図書館運営事業

(予算:9,231千円)



目的

■視覚障がいのある方や図書館を訪れるのが難しい方を含め、すべての人が本を楽しめる環境を整備する

事業概要

- 電子書籍をウェブ上で貸し出す図書館サービスを導入、運用する。
- 誰ひとり取り残さない図書館サービスの提供(読書バリアフリー)
- 本市独自の取り組みとして、小泉八雲関連書籍、八雲資料室の貴重資料や郷土資料なども閲覧できるようにする。

小泉八雲・セツ普及促進事業

(予算:6,803千円)



目的

■連続テレビ小説「ばけばけ」の放送を好機と捉え、普及冊子の制作と出前講座の実施により、小泉八雲と妻セツの功績を改めて広め、**市民の誇りと愛着を醸成**する。

事業概要

- 小泉八雲とセツの普及をコーディネートする専門人材の雇用
- 小泉八雲とセツの普及用冊子等の配布
- ゲストを招聘した、小泉八雲やセツをテーマとしたトークイベント(連続講座)等の開催
- 市民向け出前講座・授業の実施(学校・公民館など)

松江の文化力体験推進事業

松江の文化力次世代育成・継承事業(予算:2,300千円)



目的

■「松江の文化力」を再認識し、未来を担うこどもたちはもとより、**世代を超えて誰もが心豊かになれるまちを実現**する。

事業概要

- こどもとその保護者を対象に、松江の伝統文化芸術を「知る」、「体験する」などの機会を継続して提供するとともに、松江の文化力への関心を高め、**担い手の確保**や**地域の伝統文化の継承**を図る。
 - ・文化力を支える7つの柱にちなんだ講座や体験教室の開催
 - ・既存イベントに合わせて文化体験ができる機会の提供

ふるさと納税(目標寄付額:700,000千円)

目的

- 松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。
- 文化振興事業費へ活用することで財源の安定化を図る。



事業内容

- 令和7年の1.16倍にあたる**700,000千円**を目標金額として、返礼品の充実やクラウドファンディング型ふるさと納税の活用など、取組みを強化する。
- 「松江の文化力を生かしたまちづくり」コースについては**35,000千円**の寄附額を目標にしている。

